

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 184 事業名 斎場施設管理事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費 その他	管理経費	○
事業区分(2)	自治事務	法定受託事務	
	その他		
会計・ 予算区分	会計	一般会計	
	款	衛生費	
	項	保健衛生費	
	目	斎場費	
	大事業 事項	斎場事業 斎場施設管理事業	

分野別目標	2	個人を尊重し、人々がともに助け合う優しいまち
政策	1	地域福祉と健康づくりの推進
施策	4	生活衛生対策の推進
取組	3	斎場・墓地の整備

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	保険総務課	
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」	「基盤力を磨く」	「観光力を磨く」	該当せず	○
コミュニティーの充実	メリハリある都市づくりの充実	史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実	道路・公共交通網の充実	海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実	総合防災体制の充実	美味しい和歌山市イメージの充実		
その他	その他	その他		

1 事業概要及び実施内容

事業概要	事業目的（「誰・何」をどういう状態にする）ための事業か）	事業内容				
	斎場の施設管理	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。				
実施内容		平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。	斎場業務を円滑に支障なく業務遂行できるよう維持管理に努める。

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	45,210	44,269	48,373	44,886	45,601	39,562	47,815		47,815		
	伸び率 (%)	-	-	7.0%		-5.7%		4.9%		0.0%		
	人件費	常勤職員	3,409	3,409	3,409	3,331	3,331	3,337	3,337		3,337	
		非常勤職員	304	304	304	426	426	408	408		408	
		小計	3,713	3,713	3,713	3,757	3,757	3,745	3,745		3,745	
	国庫支出金											
	県支出金											
	市債					2,500	1,500	3,500		3,500		
	その他											
	一般財源(税等)	45,210	44,269	48,373	44,886	43,101	38,062	44,315		44,315		
所要人数	常勤職員	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44	0.44		0.44		
	非常勤職員	0.15	0.15	0.15	0.19	0.19	0.18	0.18		0.18		

3 目標及び実績

活動指標	指標名及び達成状況				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度				
					年度別達成度				
					年度目標値				
成果指標	修繕件数				平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
					年度目標値				
					実績値				
	単位		全体目標値		全体目標達成度	B	B	B	
					年度別達成度				
					年度目標値				
				実績値					
				年度別達成度					

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか		達成している(90%以上)	○	おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続 C 終了 D 休止 E 廃止	B 2 コスト削減・成果上昇 B 3 類似事業との統合 B 4 外部委託導入・拡大 B 5 受益者負担の適正化 B 6 終期設定 B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	斎場業務が円滑に支障なく遂行できるよう施設の維持管理に努める。開場後27年目になり、当時は最新設備であったものの今日では老朽化の域に入っており、修繕の必要性も増加している。今後も円滑な業務を行うため、さらに日常点検に努め、問題のある部分は、早急に改善しつつ運営に支障のきたさぬよう管理に努めたい。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	